

## 2019年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	工学部推薦入試 I 合格者に対する入学前教育の実施	
実施組織 (または対象のカリキュラム)	全学教育機構	
※連携する他学部・機関がある場合は記入	工学部, e-Learning センター, 総合情報センター, アドミッションセンター, 高等教育研究センター(採択前), 教職支援センター(採択後), 学務部	
実施責任者(所属)	高野 嘉寿彦 ( 全学教育機構 )	
取組の目標	本学入学予定者が「入学前の不安等を払拭し, 地理的・時間的な制約を超えて, 学習に対する自己肯定感を維持する／高める」ようにする	
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	<p>(1) 入学前教育に関する関連文献を読み, 上記連携部局との打合せを複数回実施した上で, 入学前教育の対象者や実施概要を決定した。</p> <p>(2) 地理的・時間的な制約を考慮し, 入学前教育をすべて eラーニングプラットフォーム(eALPS)で実施できるようにした。</p> <p>(3-1) 入学前教育の個別ワークで使用する数学の問題を準備した。</p> <p>(3-2) 入学前教育のグループワークを実施するため, また, 合格者の不安等を払拭させるため, 工学部先輩学生と一緒にワークに取り組めるようにした。</p> <p>(4) 入学前教育開始後も, 2 週間に 1 回程度の頻度で担当教職員間の打合せを行い, 各合格者の活動状況を把握した上で, 担当教員から各合格者あるいは工学部の先輩学生へ今後の対応等に関して指導した。</p> <p>※本取組に関する 2020 年 1 月までの準備・実施状況や成果については, 下記フォーラムの発表予稿を参照いただきたい。2 月以降の成果等についても, 別途, 学会発表や論文発表を行う予定である。</p> <p>平井佑樹, 時田真美乃, 高野嘉寿彦, 小山茂喜, 勝木明夫, 新村正明, 松村宣顕:2020 年度工学部推薦入試合格者に対する入学前教育の実施, UeLA&amp;JADE 合同フォーラム 2019 (2020 年 3 月)</p>	
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望  (達成の度合いを選び, そう評価する理由と今後の展望を記述)	a. 達成できた	<p>(評価理由)</p> <p>入学前の不安等を払拭できるような仕組みや, 地理的・時間的な制約を超えて実施できるような仕組み等を作り, 予定通り入学前教育を実施できた。そのため, a 評価とした。</p> <p>(今後の展望)</p> <p>自己肯定感の維持／向上については, 2020 年 4 月に実施予定の「高等学校における数学及び理科の履修状況に関するアンケート」の結果も踏まえて評価を行う。その後, 本入学前教育の成果を俯瞰的にまとめ, 来年度以降の実施に向けて検討を進める。</p>